

コミュニティ・スクール 合同交流研修会

今年度のコミュニティ・スクール合同研修会では、北野幼稚園・野洲北中学校の皆さんに発表していただきました。

実践発表後は社会福祉協議会より福祉推進校事業交付説明会と「学区と地域をつなぐ福祉教育（仮）」についてご案内いただきました。

その後は次年度に向けて各校園がそれぞれ協議しました。

実践発表

①北野幼稚園コミュニティ・スクール

～北野幼稚園コミュニティ・スクール 2年間のあゆみ～

園長先生に「地域の方に手伝ってほしいこと、やってほしいこと」を聞き、実現するために「わーぼす」を立ち上げられました。

「わーぼす」の「わ」は「わいわい」「わくわく」の「わ」

「ぼ」は「ぼかぼか」の「ぼ」

「す」は「すすく」の「す」

「できる時に、ちょっとだけ」「それならできそうだし手伝うよ」を合言葉に地域学校協働活動の一端を担っておられます。

最近では、先生方から手伝ってほしいことが聞こえてくるようになったり、わーぼすの取り組みを通して北野幼稚園の子どもたちの様子がよくわかるようになったりしたそうです。

そんな北野幼稚園コミュニティ・スクールの課題は「地域の人に知ってもらおうこと」です。

質問コーナーでは、同じ学区の参加者から「地域の掲示板上に大きなポスターを張り出してはどうか」といった提案がありました。

今後もわーぼすを通じて、地域の人と保護者の交流が進み、活動が広がっていくことが楽しみです。



②野洲北中学校コミュニティ・スクール

～地域と共に歩み、未来へつなぐ学びのかたち～

野洲北中学校コミュニティ・スクールでは、「心理的安全性」を大切にやわらかい雰囲気でも話し合いがもたれています。

今年度のテーマは、学校環境の改善と部活動の地域展開について熟議を重ねてこられました。

学校環境の改善では、校内外を歩き、生徒の安全の観点や清掃場所、除草の程度など、委員みんなで確認し、どう取り組むかを考えました。

部活動の地域展開では、先生方と直接話しながら、生徒にとってどのような形がよいか、先生方の力になるにはどうすればよいかなど、部活動ごとにいろいろな可能性を確認しながら話し合う機会を設けました。

また、生徒の視点に立ち、給食を実際に食べ、生徒とふれあい、感じた良さと課題を共有しておられました。先生と委員の距離の近さが印象的な野洲北中学校運営協議会です。

次年度に向けて協議！

実践発表や今年度の取り組みをもとに次年度自学校園のコミュニティ・スクールをどうしていきたいか、何か参考に行えることはないか各学校園ごとに熟議を行いました。

次年度何ができるのか、どんなところに注目して取り組んでいくのか等々話したいことがたくさんあり時間切れの合図がかかっても各校園話が尽きない状況となり、来年度に向けて熟議が重ねられました。



研修会の会場となった
野洲北中学校
山口校長



北脇教育長に
ご挨拶いただきました。

